



ことり

vol.10

令和6年12月

11月13日 ドライブ
つくモールにて



10月10日の芋ほりでうしつ保育所の
子供たちと掘った芋を食べました



リハビリの様子です



職員が着物を着て
踊りました



10月9日大道芸ボランティア



97歳のお誕生日を
お祝いしました





★施設長ごあいさつ

施設長 紙谷 達也

鳳寿荘のある奥能登は、能登半島の中でも端の方にあり、半島と言うより大きな橋のかかった「島」だと思っています。このため、工事車両や運送トラック、自動車などの通行に一定の制限があります。

施設では現在も大浴場が使えず、街では住宅も道路も1月の地震から全面的には復旧していませんが、復旧も徐々に進んでいるかと思えます。

こうした不利な条件の土地にもかかわらず、さまざまな方が鳳寿荘を訪れ、たくさんの支援が届いており、ありがたく思っております。発災後しばらくは自衛隊や緊急対応の医師や看護師、介護士などの皆さんによる応援がありましたが、現在は楽しいイベントとして、傘回しの方が東京から来られたり、地元有志による三味線演奏や踊りで大勢の方の笑顔が見られました。敬老の日には家族会による歌謡ショーも行い、私からは「長生きはそれだけで偉いのです。」と激励しました。県外のボランティアによるヨガフィットネス教室などで身体をほぐしたりもしました。日常と違う時間を過ごされ、刺激を受けられたと思います。また、地元保育所の子どもたちと芋掘りを行い、かわいい子どもたちと楽しく交流しました。

災害がなければ考えもしなかったことを考え、経験し、工夫やアイデアを持ち寄ってできるだけ豊かな生活を送れるようにしたいと考えています。

★新規採用職員紹介

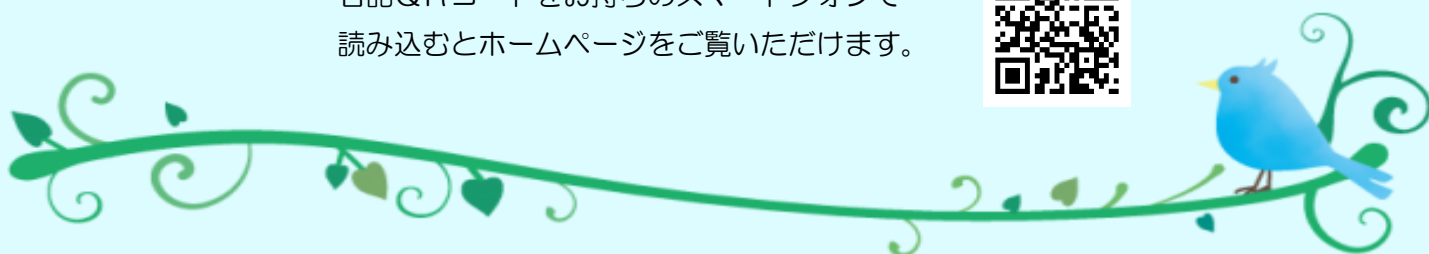


介護補助職員

浜口 照子

感謝が聞ける仕事、とても励みになります。一日でも早く力になれるよう、頑張ります。

右記QRコードをお持ちのスマートフォンで読み込むとホームページをご覧いただけます。





ことり

vol.10

令和6年12月

敬老の日お祝い～藤波デイサービスでのひととき～



懐かしのメロディーで利用者様、スタッフとともに楽しみました



せんせい～それはせんせい～♪



魅せられました♥byジュデイ・オング



YMCA!





99歳です～!! ヨガの先生、びっくり!?



長生きの秘訣は…ひ・み・つ♪



真剣勝負!



★施設長ごあいさつ

施設長 紙谷 達也

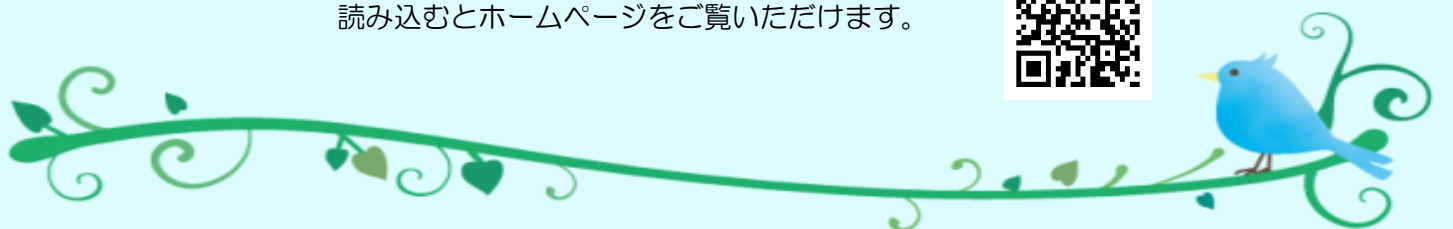
鳳寿荘のある奥能登は、能登半島の中でも端の方にあり、半島と言うより大きな橋のかかった「島」だと思っています。このため、工事車両や運送トラック、自動車などの通行に一定の制限があります。

施設では現在も大浴場が使えず、街では住宅も道路も1月の地震から全面的には復旧していませんが、復旧も徐々に進んでいるかと思えます。

こうした不利な条件の土地にもかかわらず、さまざまな方が鳳寿荘を訪れ、たくさんの支援が届いており、ありがたく思っております。発災後しばらくは自衛隊や緊急対応の医師や看護師、介護士などの皆さんによる応援がありましたが、現在は楽しいイベントとして、傘回しの方が東京から来られたり、地元有志による三味線演奏や踊りで大勢の方の笑顔が見られました。敬老の日には家族会による歌謡ショーも行い、私からは「長生きはそれだけで偉いのです。」と激励しました。県外のボランティアによるヨガフィットネス教室などで身体をほぐしたりもしました。日常と違う時間を過ごされ、刺激を受けられたと思います。また、地元保育所の子どもたちと芋掘りを行い、かわいい子どもたちと楽しく交流しました。

災害がなければ考えもしなかったことを考え、経験し、工夫やアイデアを持ち寄ってできるだけ豊かな生活を送れるようにしたいと考えています。

右記QRコードをお持ちのスマートフォンで読み込むとホームページをご覧いただけます。





ことり

vol.10

令和6年12月



9月16日 敬老会

10月10日 芋ほり

うしつ保育所の子供たちと



11月13日 ドライブ
つくモールにて



被災以前のように、行事の再開に取り組んでおります。
日常がだんだんと戻ってきました。
また、外部のボランティアの皆様にもお越しいただきました。
利用者の皆様にも非常に明るい笑顔が見られておりました。



10月9日
大道芸ボランティア

11月8日

ヨガレッスンボランティア





★施設長ごあいさつ

施設長 紙谷 達也

鳳寿荘のある奥能登は、能登半島の中でも端の方にあり、半島と言うより大きな橋のかかった「島」だと思っています。このため、工事車両や運送トラック、自動車などの通行に一定の制限があります。

施設では現在も大浴場が使えず、街では住宅も道路も1月の地震から全面的には復旧していませんが、復旧も徐々に進んでいるかと思えます。

こうした不利な条件の土地にもかかわらず、さまざまな方が鳳寿荘を訪れ、たくさんの支援が届いており、ありがたく思っております。発災後しばらくは自衛隊や緊急対応の医師や看護師、介護士などの皆さんによる応援がありましたが、現在は楽しいイベントとして、傘回しの方が東京から来られたり、地元有志による三味線演奏や踊りで大勢の方の笑顔が見られました。敬老の日には家族会による歌謡ショーも行い、私からは「長生きはそれだけで偉いのです。」と激励しました。県外のボランティアによるヨガフィットネス教室などで身体をほぐしたりもしました。日常と違う時間を過ごされ、刺激を受けられたと思います。また、地元保育所の子どもたちと芋掘りを行い、かわいい子どもたちと楽しく交流しました。

災害がなければ考えもしなかったことを考え、経験し、工夫やアイデアを持ち寄ってできるだけ豊かな生活を送れるようにしたいと考えています。

★新規採用職員紹介



栄養士
石田 真由美

早く仕事を覚え、利用者様の楽しみにされている食事を通して健康で穏やかな生活をおくられるよう、努めて行きたいと思っています。宜しくお願い致します。



看護職員
大西 きぬ江

以前いたところと勝手が違い、戸惑う事ばかりですが、少しずつ慣れて覚えていきたいと思っています。

右記QRコードをお持ちのスマートフォンで読み込むとホームページをご覧いただけます。

